

# 平成 17 年第 1 回 理事会 議事録

社団法人 日本滑空協会

1. 日 時 平成 17 年 6 月 11 日 (土) 13 : 00 ~ 14 : 00
2. 場 所 航空会館 8 階 801 会議室
3. 出席者 会 長 : 牧野 健  
常務理事 : 坂井正一郎 高田豊信 吉田正克  
理 事 : 板倉忠興 大平雅大 鈴木康一 万場泰雄 吉田茂  
  
委 任 状 理 事 : 上原孝義 近藤良四郎 窪田悦郎 土屋宣幸 中村暢宏  
オブザーバー : 佐志田伸夫 (増谷一夫) 野田迪郎 (岡井紀道)  
出席監事 : 相原浩人 秋山武彦

議事に先立ち、理事総数 19 名に対し、委任状を含め 14 理事の出席があり、定款第 29 条 1 により本理事会は有効に成立したこと、及び定款第 28 条 2 により、会長が議長を務めることが事務局より報告された。また定款第 27 条による議事録署名人には、議長より高田並びに坂井両常務理事が指名された。

## 4. 議 事

### 議案第 1 号 平成 17 年度事業計画案について

議長の指名により、事務局から平成 16 年度事業報告案の説明が行われ、全会一致で承認された。

4/15-16、23-24 に関宿滑空場で開催された第 20 回日本滑空選手権が、会計手続の関係で 16 年度に含まれない旨の説明が行われた。

(財)日本航空協会が国土交通省航空局から受託していた滑空機検査事務局を平成 16 年度末に返納した影響に対する質問があった。高田常務理事より、滑空機検査事務局を通さず耐空検査員と航空局が直接折衝しており、実務上以前と同様に業務が行われている旨説明があった。

### 議案第 2 号 平成 16 年度決算報告書案について

議長の指名により、大平理事より平成 16 年度決算報告書案の説明が行われ、全会一致で承認された。

## 其の他意見

(1) 会員増加の重要性に関する意見があり、下記議論があった。

- \* 現在(財)日本学生航空連盟に所属している大学生のグライダー愛好家が700名いるが、学連がJSA団体会員なのでJSA個人会員への勧誘を行っていない。これは日本航空学園についても同様。団体会員制度設立時、学生の経済的負担を増やさない施策である。
- \* 団体会員になっている社会人クラブが8団体あり、この会員も団体会員のほかに重複して個人会員に入る意識を持っていない。
- \* 事務局でセミナーなどを開催すると、JSA会員以外にも多くの参加者がある。このような人に会員参加を呼びかけることが必要と考える。ただし、補助金を使って開催するイベントでは、一般への滑空活動普及の趣旨から、会員と会員以外の待遇の差を付けるのは禁じられている。
- \* JSA会員の年齢構成が年々高くなり、入会者より退会者のほうが多い。

## 本年度の施策として会員増加を行うなら

- \* 理事ならびに会員各位全体で会員増加活動を行う。(加えるかどうか政治的にご判断下さい)

(2) 地方会員のメリットを増やす必要性の意見があり、下記議論があった。

- \* 民法の規定によれば、社団法人の会員はその設立目的を達成する同士であり、会社の社員に位置する。理事など役員は総会の決議事項を実行する業務執行役と規定され、JSAの業務も現在そのように実行されている。
- \* 会員は上記趣旨でJSAの業務執行に参加し、その中で地方会員のメリット増やす施策を実行して行くべきである。

(3) 秋山監事より、JSA名誉会員堀川さん米寿のお祝いの席で、萩原式滑空機を展示する企画があり、JSAが参加するべきではないかとの意見があった。

この企画は7/23-24 関宿滑空場で開催されるスカイレジャージャパンでNPO法人関宿滑空場が主体となって準備が進められている旨報告があった。

## 5. 報告事項

特になし

以上で全ての議事を終わり、14時00分議長は閉会を宣言し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は押印する。

平成 17 年 6 月 11 日

議 長 会 長 牧 野 健

議事録署名人 常務理事 高 田 豊 信

同 同 坂 井 正 一 郎